

市町村名		渡名喜村						
平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-① 環境保全・美化推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(12)-ア			
	担当部署名	民生課・経済課		事業実施(予定)年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興	
						Ⅲ-1-(1)		
事業内容								
島の自然と人文の調和を基調とした魅力的な観光地づくりを推進するため、集落内や観光スポット周辺等の緑化及び美化活動を実施するとともに、外来植物(ギンネム等)の駆除及び在来植物の保全育成を図る。								
実施方法								
<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()								
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額 (b-a) (d) 繰越額	A. 計 (b+d)		25,583	38,192	51,840	49,924	
		B. 執行済額		26,077	27,584	47,745	36,605	
		うち交付金充当額		20,861	22,067	34,441	22,604	
		次年度繰越額		0	0	0	0	
	執行率 (%) (B/A)		100.0%	100.0%	90.2%	77.2%		
	予算の状況の説明		前年度の執行状況を考慮し、中盤で作業日数を240日から220日に減少させたため予算現額を当初計画から13,319千円を減額した。しかし、出勤率や天候不順のため計画通りの日数を消化できなかったため、不用額8,349千円が出ており、決算で不用とした。					
	活動目標(指標)及び達成状況							
	H28活動目標(指標)			達成状況				
				28年度	29年度	30年度	31年度	
集落内及び観光地周辺の緑化や美化を実施することにより渡名喜らしい観光地づくりをめざす。	目標	()	()	()	()	()		
	実績	渡名喜らしい観光地づくりができた						
	目標	()	()	()	()	()		
	実績							
達成状況説明	賃金作業員52名を雇用し、観光スポット周辺や集落内の28箇所についての雑草等除去、観光スポット周辺の8箇所についてギンネム等(外来植物)の除去、観光スポット周辺14箇所について在来植物の「カワラナデシコ等」の希少植物の保全、育成等を実施し、渡名喜らしい観光地づくりができた。							
成果目標(指標)及び進捗状況								
H28成果目標(指標)			基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(年度)	
緑化及び美化活動実施箇所:28箇所	目標	()	()	(28箇所)	(28箇所)	(28箇所)	()	
	実績			28箇所	28箇所	28箇所		
外来植物駆除実施箇所:8箇所	目標	()	()	(8箇所)	(8箇所)	(8箇所)	()	
	実績			8箇所	8箇所	8箇所		
在来植物保全育成実施箇所:14箇所	目標	()	()	(14箇所)	(14箇所)	(14箇所)	()	
	実績			14箇所	14箇所	14箇所		
進捗状況説明	緑化及び美化活動が14箇所、外来植物駆除の実施が8箇所、在来植物保全育成の実施が14箇所、集落内美化清掃が14箇所、目標が達成できた。これまで、草木の処理に苦慮していたが草木処理粉砕機を購入したことにより、粉砕処理した草木を堆肥として公共施設や在来種保全育成用の肥料として再利用できるようになった。							

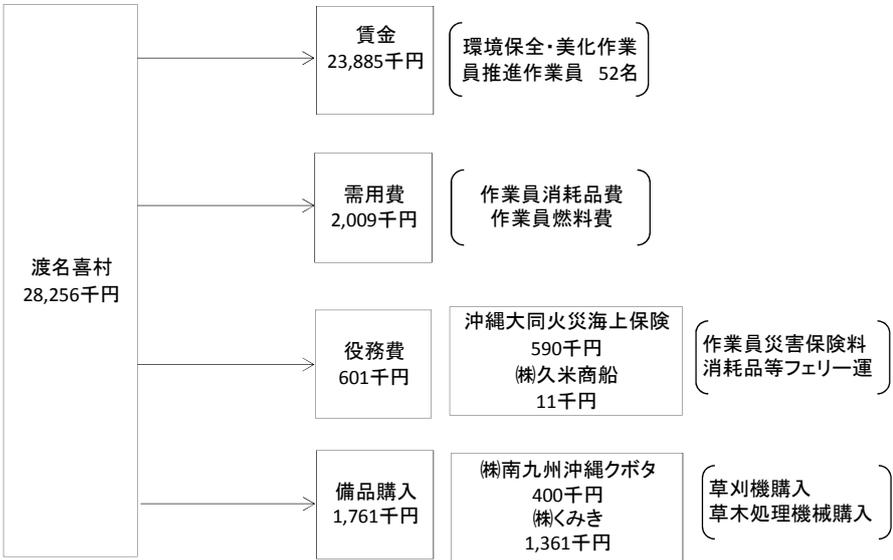
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 夏場の猛暑時期には、作業環境の悪化により作業員の休みが多く、出勤率が悪くなっている。 雨や台風などの天候不良等により作業日数の大幅な減少が生じた。 年度末の3月においては実績報告に係る事務処理のため作業日数が大幅な減少となっている。 事業執行中に不測の事故により負傷者が発生した。 	<ul style="list-style-type: none"> 夏場の猛暑時には勤務時間を見直し休憩時間を増やすなど対策を講じ、作業環境の改善を図る。 作業日数の減少が今後の課題であるので、天候不良等による作業実施については、多少の天候不良で作業を中止することなく実施できるようにし作業日数を増加させ、事業執行率を向上したい。 年度末の実績報告に係る事務処理の効率化・迅速化を図り目標の作業日数を確保する。 定期的に安全講習会を実施し、事故等の再発防止に努める。

今後の取り組み方針

効果的・効率的に事業を執行するため、作業員との定期的なミーティング等で指導等を行い、勤務態度の改善を図る。また、夏場の猛暑時の作業環境への対策としてサマータイム(昼間の休憩時間(2時間30分)を設ける)を導入し、昼間の猛暑時の作業環境の改善を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
28,256	28,256	22,604	5,652	0



資金の流 れ、費 目・使 途の 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	業者選定方法については指名競争入札により組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	予算規模については、3社以上の見積もりを参考にした適正な設計により必要最小限の価格で予算措置をしており、不用額が13,319千円出ているが、すべて作業員賃金に係るものであり、天候不測や猛暑時における作業効率の悪化や事務処理による不測の作業日数減少であり適正であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	費用・使徒ともに必要最低限のものであり適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名 渡名喜村

平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2-① 離島苦解消移動手段安定化対策事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-ウ
担当部課名	総務課	事業実施(予定)年度 平成25～33年度	交通基盤の整備と交通ネットワークの充実強化
		沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-9

事業内容 離島観光の利便性及び離島住民の交通基盤の向上を図るため、フェリーが悪天候などにより欠航し沖縄本島と本村間におけるチャーターヘリを利用した場合、事業所に対し利用者の運賃の一部を支援する。

実施方法 直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況					
	(a) 当初予算額	2,000	2,000	2,000	2,000	
	(b) 予算現額	1,240	1,560	760	2,680	
	(c) 増減額 (b-a)	▲ 760	▲ 440	▲ 1,240	680	
	(d) 繰越額	—	—	—	—	
	A. 計 (b+d)	1,240	1,560	760	1,680	
	B. 執行済額	1,240	1,560	760	1,344	
	うち交付金充当額	992	1,248	608	1,075	
	次年度繰越額	0	0	0	0	
	執行率 (%) (B/A)	100.0%	100.0%	100.0%	80.0%	
予算の状況の説明	当初予定からフェリー欠航回数が減少し、近隣市町村において同事業を執行する町村が1市町村増えたことにより、フライト回数が減少したため、予算より720千円を減額した。					

活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)	達成状況				
		28年度	29年度	30年度	31年度	
	海上時化によるフェリー欠航でも予定どおり本島へ戻れる安心感や補助金により料金が安価に設定されることで、離島観光の利便性を図ることができ、それに伴う島の活性化にも期待できる	目標	(離島観光の利便性を図り、島の活性化につなげる)	()	()	()
		実績	離島観光の利便性を図り、島が活性化した			
	目標	()	()	()	()	
	実績					
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 本村では沖縄本島での交通手段として、1日1便のフェリー運航に頼っている。しかし悪天候により船舶航路が欠航となった場合、島民の交通手段は閉ざされてしまう。このような離島での交通機関の問題を解消するため、チャーターヘリを利用したサービスを行っており、本事業を行うことによりフェリー欠航時においても、観光を含め沖縄本島へ往来することができるようになった。また、島へ移動する予定の日に悪天候(海上の時化等)が予想される場合は事前に往来を断念する島民や観光客が多くあったが当該事業によりフェリー以外の交通手段の選択肢が増えたことで悪天候が予想される場合でもあっても往来する人が増えた。 フェリー欠航時の沖縄本島へのヘリの往来についての補助を28回行った。 					

成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)	基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(年度)	
		年間フライト回数35回	目標	()	(50回)	(50回)	(35回)
	実績			39回	19回	28回	
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
実績							
進捗状況説明	当初予定していたフライト回数は50回であったが、12月において計画上不用となるフライト回数を減少し目標を35回と変更を行った。その後おおむね想定通りフェリー欠航時、渡名喜ヘリポート～那覇空港のフライトを実施した。目標より7回少ない理由としては、前年度に続きフェリー欠航回数の減少や、ヘリ機材に限られる中で周辺の離島との兼ね合いから、渡名喜一本島間のフライト回数が減となったため。						

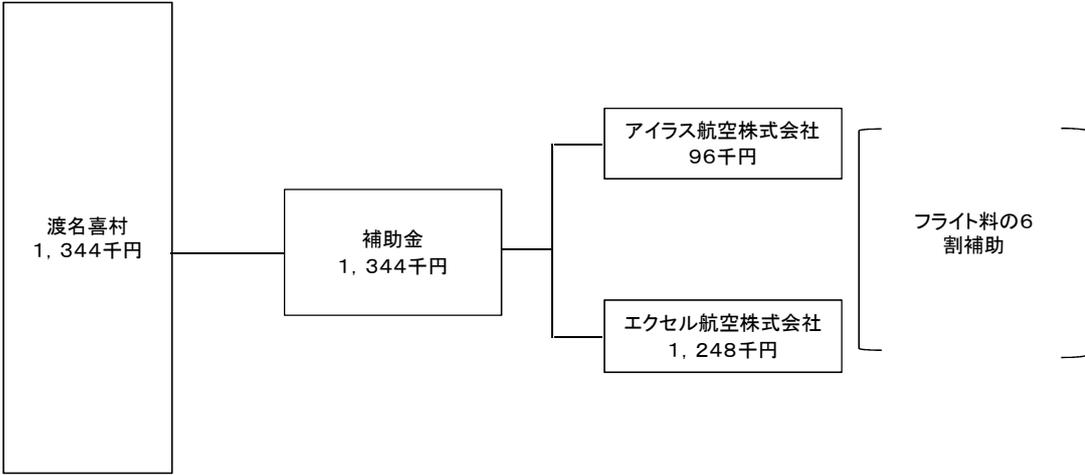
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者からはフェリー欠航時において、本村では代替の交通機関がなく島での滞在を余儀なくされ、経済的・精神的な負担となっていたがヘリチャーターの運航によりこれらの負担が軽減され大変助かっているとの声が多くあった。また、当該事業により島民・島外のフェリー利用者は増加傾向にある。 ・フェリー欠航時の当該事業によるヘリチャーターの運航サービスについては村民をはじめ多くの方へ定着しつつあるが本村へ初めて来られる島外の方等への周知を引き続き行う必要がある。 ・フェリーが欠航する時期が台風時や冬場の海上時化時に多く、本村を含め周辺離島も利用客が集中するためヘリの提供が不可能な場合があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘリチャーターについては、前日予約が可能なおから事前の天候等の情報収集をしつつ天候悪化が予想される場合に早期のヘリ利用者の確保に努める。 ・安全運航を確保しつつ、欠航時のヘリ運行回数を増加出来るよう事業者及び周辺離島との調整を行う。

今後の取り組み方針

今後もヘリ運航事業者への安全管理の徹底やヘリチャーター利用者への運航情報の周知を図りながら、フライト回数の増加に繋げ離島住民や観光などで訪れた人達への利便性の充実につとめる。
 また、周辺離島においてもヘリチャーターを利用していることからフェリー欠航時に本村への運航の確保が100%となっていない状況であるため、フェリー欠航前からの予約確保(フェリー運航前日からの予約可能)を行うなど、フェリー欠航時のヘリ確保の向上に努める。
 本村、移住・定住活動において移住希望者等へ交通機関の確保等の観点から離島の交通の不便さを解消する手段としてのPRを含め周知を図る。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
1,344	1,344	1,075	269	0



資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・県内で民間ヘリ輸送を行っている業者はアイラス航空(平成28年10月1日付けエクセル航空へ社名変更)のみであり業者選定・補助先については適正であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	・フライト料の6割を補助金交付する事としており、過去の欠航回数や周辺離島のフライト料金を吟味し適正に補助額を決定している。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	・予算規模については、補助基準額の範囲内であり適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	・受益者負担、費用、使途については補助金交付規則に沿って適正に執行されている。

市町村名		渡名喜村					
平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-① 児童・生徒の教育活動助成事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(2)-イ			
担当部課名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成26～33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	地域における子育て支援の充実 Ⅲ-3-(1)	
事業内容	離島のハンディーを克服するため、児童・生徒の村外での教育諸活動(スポーツ・文化)及び交流学习への派遣費用等を支援する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	1,284	1,284	1,027		
		(b) 予算現額	313	1,284	470		
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 971	0	▲ 557		
		(d) 繰越額	—	—	—		
	A. 計 (b+d)		313	1,284	470		
	B. 執行済額		313	422	300		
	うち交付金充当額		250	336	240		
	次年度繰越額		0	0	0		
	執行率 (%) (B/A)		100.0%	32.9%	63.8%		
予算の状況の説明		本村は離島村であることから船便が唯一の交通手段で有り、季節風や台風等により海上が時化になり、フェリーが欠航した場合には、島外での教育活動が出来ない。実績において当初に比べ不用額が720千円であるが、このような理由から児童生徒の当該教育活動への参加回数が減った事によるものであり、不用額を見込み12月において事業費を557千円を減額しており、予算の計上などについては適切な予算規模であったと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	達成状況						
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	小中学生の教育諸活動及び交流学习に係る支援の実施	目標	交通費・宿泊費の助成・参加延べ人数137人	交通費・宿泊費の助成・参加延べ人数153人	交通費・宿泊費の助成・参加延べ人数71人	()	
		実績	交通費・宿泊費の助成・参加延べ人数60人	交通費・宿泊費の助成・参加延べ人数106人	交通費・宿泊費の助成・参加延べ人数86人		
			目標	()	()	()	()
			実績				
達成状況説明	離島のハンディーを克服するために、児童・生徒の教育活動(スポーツ・文化)及び交流学习へ、小学校7回、延べ人数53人、中学校7回、延べ人数33人、合計延べ人数86人の児童・生徒の派遣を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)		基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(年度)
	スポーツ大会参加(小学生15名、中学生40名)	目標	()	(小26名中56名)	(小26名中56名)	(小15名中40名)	()
		実績		小31名中14名	小18名中30名	小15名中18名	
	文化発表会等参加(小学生16名、中学生13名)	目標	()	(小16名中17名)	(小16名中17名)	(小16名中13名)	()
		実績		小2名中8名	小21名中17名	小23名中7名	
	交流学习参加(小学生15名、中学生8名)	目標	()	(小13名中9名)	(小13名中9名)	(小15名中8名)	()
実績			小9名中2名	小18名中2名	小15名中8名		
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・目標は年度途中の12月において実績を見込み変更し、執行可能な必要最小限の参加人数へ変更した。 ・計画の上で天候不良により計画が中止となった事業については年度途中において今後参加見込みが無い場合、不用額圧縮のため成果目標で参加回数を減少した。 ・計画していた大会等に参加することにより、児童・生徒が島外派遣を通し精神的及び肉体的な成長の勇躍を図ることができた。 						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・交流学習については小中合同の派遣から単独の派遣にすることで、参加の推進を図った。また、天候等により参加の危うい大会時には天候の安定している前日等に派遣する等、学校との連携を図った。 ・独自の交流事業については、受け入れ先の選定や内容を定めることが困難であり、今後の検討事項となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後事業の100%実施に向け、学校とPTAとの連携理解のもと、天候不良の見込みの場合、大会当日の参加ではなく、大会前日等、天候の安定している日に派遣するなど、事業実施日の見直しを図り、より多くの大会等への参加を行うことをめざし、離島における天候不良等への影響の軽減に努めることにしていく。

今後の取り組み方針

- ・天候等に左右されない時期や季節などを検討し、児童・生徒の技術の向上や精神面における成長に寄与するような新しい事業を展開し、計画通りに事業を執行する。
- ・県外開催においてのスポーツ大会等の村外活動への支援の検討を行っていく必要がある。
- ・行政、学校、地域、PTAの連携による事業計画や事業の推進計画を進めていく必要がある。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
300	300	240	60	0



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ・支出先は要綱に従って選定されており、適正であった。 ・予算額については、不用額が出ているが、天候等の影響による事業中止を考慮する等のやむを得ない理由によるものであり、事業費の見直しを図るなどを行っており、適正な規模であった。 ・助成金等の使途については、要綱に従った経費であるか等について書類等により確認し、適正であることを認識している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		渡名喜村					
平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-① 防災行政無線屋外拡声装置設置事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-2-(4)イ		
	防災に資する事業		沖縄振興基本方針該当箇所		Ⅲ-10-(2)		
担当部署名	総務課		事業実施(予定)年度	平成28年度			
事業内容	近年の大規模地震及び気候変動による大型化する台風の発生などから、離島村である本村においては、想定以上の被害が予想される。大規模災害に備え、災害情報を迅速かつ的確に伝達し、村民や観光客等が早期の避難行動をとれることを可能とするために、防災行政無線屋外拡声装置を整備する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	
		(a) 当初予算額	3,143				
	(b) 予算現額	3,024					
	(c) 増減額 (b-a)	▲ 119					
	(d) 繰越額	—					
	A. 計 (b+d)	3,024					
	B. 執行済額	3,024					
	うち交付金充当額	2,419					
	次年度繰越額	0					
	執行率 (%) (B/A)	100.0%					
予算の状況の説明	見積書等を参考に予算を作成し、予算の範囲内で執行し、事業計画通りに事業を完了することができた。不用額119千円は入札残によるものであり、適正であったと考える。						
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)		達成状況				
			28年度	29年度	30年度	31年度	
	近年の自治体の地域防災・減災活動の取組及び課題等を把握。	目標	(取組・設置等の把握)	()	()	()	
		実績	取組・設置等の把握				
	迅速かつ的確な情報伝達の実現に向け、防災行政無線屋外拡声装置の整備を実施。	目標	(装置の整備)	()	()	()	
		実績	装置の整備				
達成状況説明	業者による資機材の調達等もスムーズに進んだことから、予定していた工期内で引渡しを受けることができ、本事業の完了により、防災行政無線屋外拡声装置の機能強化を実現することができた。 尚、他自治体においては、防災行政無線を使用した全村民・全地域対象の避難訓練を毎年実施している自治体が多く、避難行動要支援者の避難行動支援や、観光客への避難行動周知等において、本村より先進的に取り組んでいることが分かった。本村は、これまで全村民・全村域対象の避難訓練が未実施であったことから、今後は防災行政無線を使用し、毎年1回の避難訓練を積極的に実施していく。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)		基準値(年度)	28年度	29年度	30年度	目標値(年度)
	災害情報の迅速かつ的確な伝達の実現(設置工事完了)	目標	()	(設置工事完了)	()	()	()
		実績		設置工事完了			
	迅速な地震津波避難訓練の実施	目標	()	(避難行動の実現)	()	()	()
		実績		避難行動の実現			
	進捗状況説明	本村において、毎年11月に実施している、学校(幼・小・中)との地震津波避難訓練に加え、平成28年度は、全村民及び観光客等を対象にした、地震津波避難訓練を実施した。Jアラートを起動させ防災行政無線より、訓練用の災害情報(津波情報及び避難勧告、避難指示等)を迅速に伝達し、避難支援、避難誘導を村内の各所にて実施し、3か所の避難所へ約90名の村民等が避難行動をとった。また、屋外拡声装置設置整備を実施した地区における地震津波避難訓練においても、同地区近辺にて作業等を行っている村民は訓練用の災害情報を聞き、迅速かつ的確な避難行動をとった。					

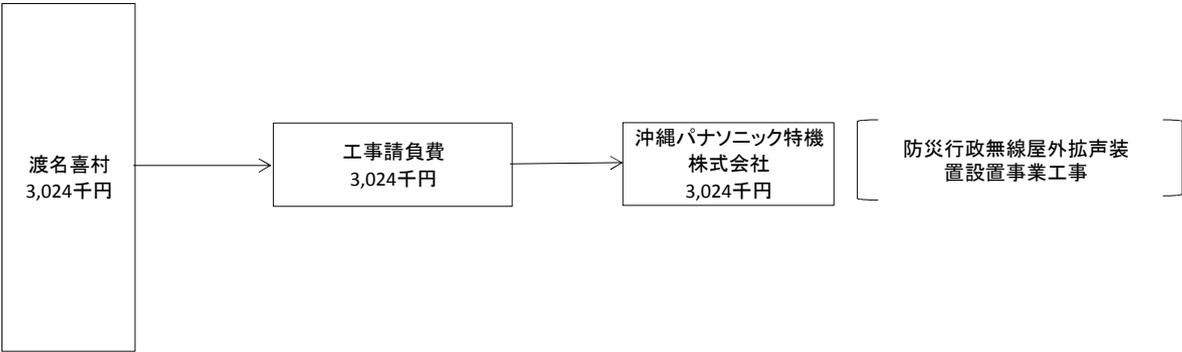
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>本事業において防災行政無線屋外拡声装置を設置整備する地区には、ごみ焼却施設が所在し、また、本村の林道(展望台)へと続く村道であり、観光客等の散策コースとなっている。加えて、周辺には畑が存在し村民は農作業を行ったり、海岸沿いでは釣りや潮干狩り等を楽しむ村民や観光客等もあり、周辺の沖合では、漁を操業する漁師もいる。</p> <p>現状のままでは、当該地区への災害情報等が的確かつ迅速に伝達されず、周辺域にいる村民等の生命を守る防災活動が実施できないことから、村全域への災害情報等を含めた情報伝達の仕組みが必要である。</p>	<p>本事業が完了することにより、不十分であった防災行政無線による渡名喜村全域への災害情報等を含めた多様な情報伝達の実現し、村民及び観光客等の生命を守る地域防災・減災活動を積極的に取り組むことが可能となる。</p> <p>今後は、防災行政無線及び屋外拡声装置を利用した避難訓練を毎年実施することを継続し、的確かつ迅速な情報伝達に平常時より留意することに努める必要がある。</p>

今後の取り組み方針

今後の取組みとして、他自治体の地域防災活動等の事例等を参考に、毎年、防災行政無線及び屋外拡声装置を利用する、村全域・全村民等を対象とする避難訓練を実施し、的確な情報伝達を受けての迅速な避難支援、避難誘導、及び避難行動が行える地域防災・減災活動の取組を積極的に強化していく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
3,024	3,024	2,419	605	0



資金の 用途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・業者選定方法については、指名競争入札により、企業組織・実績・知識等を勘案した上で選定しており、妥当であった。
	○	予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	・予算規模については、3社以上の見積書を参考にした、補助基準額の範囲内であり適正であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	・本事業目的について、費用・用途共に必要最低限のものであり、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	渡名喜村
------	------

平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	7-① 観光振興整備事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ
担当部署名	経済課	事業実施(予定)年度 平成27～31年度	観光客の受入体制の整備
		沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(1)

事業内容 観光客の受入態勢整備が必要とされていることから、観光ルートの整備(案内板設置や安全対策等)や観光施設(トイレ等)の整備に向けた実施設計を行う。

実施方法 直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況					
	(a) 当初予算額	7,312	14,667			
	(b) 予算現額	7,312	14,667			
	(c) 増減額 (b-a)	0	0			
	(d) 繰越額	—	—			
	A. 計 (b+d)	7,312	14,667			
	B. 執行済額	7,072	14,364			
	うち交付金充当額	5,657	11,491			
	次年度繰越額	0	0			
	執行率 (%) (B/A)	96.7%	97.9%			
予算の状況の説明	設計額も3社見積りで決定しており、予算範囲内で契約し年度内に完了した。不用額303千円は入札残によるものである。					

活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)	達成状況			
		28年度	29年度	30年度	31年度
		実施設計業務委託の実施	目標 (実施設計の実施)	()	()
	実績	実施設計の実施			
	目標	()	()	()	()
	実績				
達成状況説明	次年度実施する観光振興整備事業についての実施設計を実施し予定通り取り組むことができたことから、目標を達成できた。				

成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)	基準値(年度)	28年度	29年度	30年度	目標値(年度)	
		実施設計の完了	目標 ()	(実施設計の完了)	()	()	()
			実績		実施設計の完了		
			目標	()	()	()	()
	実績						
進捗状況説明	次年度実施する観光振興整備事業についての実施設計を実施し予定通り取り組むことができたことから、目標を達成できた。						

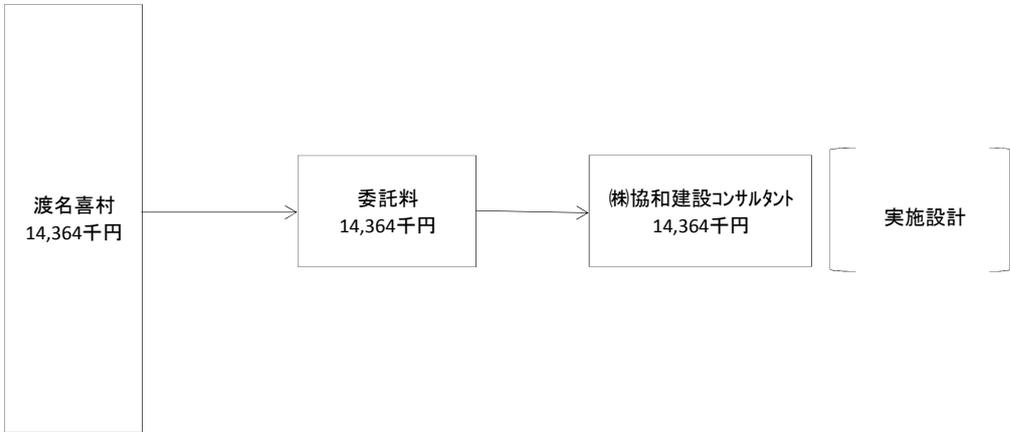
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	先人たちが守り育んできた自然景観や昔ながらの集落景観は、他に類を見ない景観を形成し本村の観光目玉となっている。しかしながら、これまで整備した観光施設や観光スポット及び観光ルートは、整備が不十分であり、年々増えつつある観光客に対し利便性や安全性を考慮した観光ルートへ早急に整備することが必要である。	事業を実施することにより、不十分であった観光施設が整備され、増えつつある観光客へ安心・安全・利便的に島の自然を満喫してもらい島の魅力を島外へ発信していただき渡名喜ファンを増やすことで今後の観光振興等に寄与できると考えている。

今後の取り組み方針

今後は、基本設計及び実施設計をもとに、本村へ観光に訪れた観光客が滞在中、観光ルートを便利で安全性に過ごすことができるようトイレや休憩所、案内板の設置等を実施し、事業実施後には整備箇所をアピールすることで観光地としてのイメージアップを図り観光客の増加に繋げていきたい。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
14,364	14,364	11,491	2,873	0



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ・業者選定方法については、指名競争入札により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており妥当であったと考えている。 ・予算規模については、3社以上の見積もりを参考にした適正な設計により必要最小限の価格で予算措置をしており適正であった。 ・費用・使徒ともこの事業での必要最低限のものであり適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費用・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	